令和7年度　筑後支部総会報告

支部長　原 美穂

　令和７年６月２９日、第一薬科大学後援会筑後支部総会を、ハイネスホテル久留米にて開催いたしました。本年度は、保護者８名、学生１名の合計９名での開催となりました。参加者同士の距離も近く、終始和やかであたたかい雰囲気に包まれた、充実した時間となりました。

当日は、大学より白谷学生部長教授にご出席いただき、大学の近況報告をはじめ、今年度の国家試験の結果や、現在の学生たちの学習状況などについて詳しくご説明いただきました。薬剤師国家試験においては、年々求められる知識や実力が高まる中、ストレート合格を目指すために、学生一人ひとりが各学年でどのような学習に取り組むべきか、また、家庭でのサポートのあり方についても具体的にお話しいただき、保護者の立場として非常に参考になる内容でした。

特に印象的だったのは、国家試験に合格するための学習が、決して６年生になってから始まるものではなく、１年次から積み重ねていくべき姿勢と学びの習慣が鍵であるという点です。学年ごとの目標や習得すべき知識を明確に意識し、段階的に力をつけていくことの大切さを、白谷先生は具体例を交えてわかりやすくご説明くださいました。保護者一同、大きくうなずきながら耳を傾けており、子どもたちの学業を支える私たちにとって、非常に心強い助言となりました。

また、今回は学生１名にもご参加いただきました。学生としての責任や学業への向き合い方について何か感じ取ってくれていたように思います。保護者にとっても、学生の存在が会に加わることで、子どもたちが日々どのような環境で学んでいるのかを改めて実感する機会となりました。支部活動の意義を改めて感じることができました。

今後も筑後支部では、保護者間の交流を深めながら、大学との連携を密にし、学生たちの健やかな成長と充実した学生生活を支えていくことを目指してまいります。ご参加くださった皆様には心より感謝申し上げますとともに、今後の活動にも引き続きご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。